

行事報告
『避難訓練』

毎月避難訓練を行っています。ベルの音や放送、保育者の話を聞き、火事の時には口を押えながら避難していることもたちです。“お・は・し・も”の約束（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）も守ることができています。火事や地震などが起こらないことが1番ですが、もしもの時自分の命を守るように毎月の避難訓練をしっかりとすると同時に、命の大切さも伝えていきたいです。

テラスの柱にかかっているこの袋は、避難時にこどもたちの靴を入れる袋です。



靴箱奥の門



非常階段

2階そら組保育室から繋がっている非常階段です。

6月の予定

- 15日(火) 避難訓練
- 17日(木) 歯科検診
- 18日(金) 誕生会
- 25日(金) 内科検診

7月の予定

- 2日(金) 避難訓練
- 9日(金) 誕生会
- 12日~8月31日 夏期保育



職員はこの期間、職員の週40時間労働の調整、研修等のため交代で休暇をいただきます。

あすなろ オリンピック ~今月のベストショット~

離れない~離れない~ (ダンス)

にじ組

ひとりできるもん! (布団の片づけ)

つき組

天井まであと少し!? (カプラ)

そら組

ほし組(たんぼぼ)

抜くぞ! 抜かれないぞ! (大根抜きゲーム)

ゆき組

落ちないように、そーっと(一本橋)

はな組 朝倉 満里奈



つぶやきコーナー



5歳児 そら組

西3丁目公園へ行き『音いつ?』という自然あそびをしました。1分程度目を閉じて、周りの音に耳を澄ませます。
保:「どんな音が聞こえた?」
Dさん:「葉っぱ」 Eさん:「風」 Fさん:「鳥」
と自然の音を言う中…
Gさん:「先生の歩く足音!」
カメウでこどもたちの様子を撮ることで何も気にせず歩いてきた数分前の自分の足音に反省する保育者でした。

初めて保護者の元を離れて生活するはな組(0歳児)のこどもたち。好きなあそびを楽しんでいる最中でもふと思い出して寂しくなることもあります。園での生活にも慣れてきて、うたが聞こえてくると玩具を振ったり、体を揺らしたりしながら笑顔で過ごせることが増えています。

ある日、朝の別れが辛く泣けた9ヶ月のAさん。玩具を渡しても「いらない」と投げたり、うたを歌っても「いや」と怒ったりする姿があり“どうしようかな?”と考えていると、近くに居た11ヶ月のBさんがそっと音の鳴る玩具を持って来てくれました。12ヶ月のCさんは泣いているAさんの顔を「ばあ」といながら覗き込んでいます。Bさんが持って来てくれた玩具と一緒に『おもちゃのチャチャチャ』などのうたを歌っているうちにAさんの涙も自然に止まり、抱っこから降りて遊び始めました。そこから隣同士であそぶ姿が見られ、顔を見合わせ笑い合う姿や色水をジュースに見立てた玩具で「乾杯」をする姿などが見られるようになりました。その日をきっかけに、泣いている友だちがいると玩具を持って来てくれる子や「まあまあ」と言わんばかりに友だちの肩を叩いてみる子など、保育園で一番小さいはな組ではありますが、友だち同士の関わりを見ることができました。大人対こどもだけでなく、こども対こどもでの関わりがこれからも増えてくるのが楽しみです。

『友だちの存在に気が付いて』

令和3年6月1日発行

社会福祉法人岡山こども協会 あすなろ保育園
〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665



QRコードもご利用ください。

<https://asunaro.okayamakodomokyoukai.jp>

検索

生活

ほし組(れんげ)

自立心



—こどもの姿—

コップや歯ブラシなどを使ったあとはコップ袋や鞆にしまうことが身についてきました。次のことを早くしたい気持ちから鞆の上にポンッと置いてしまうこともあります。子ども同士で「コップでとるよ」「しまった？」と声をかけ合う姿も見られるようになりました。

—保育者の思い—

身の回りのことを自分でできることが嬉しく、自信をもって生活できるようになっています。身の回りをきれいにすることで、自分の持ち物を管理ができ、気持ちよく過ごせることを伝えています。

あそび

かき組

健康な心と体



—こどもの姿—

保育室にある机や棚に登ろうとする姿が見られるようになったので、園庭にクライミングウォールを出してみました。保育者が準備をしている間、登りたくて傍で待っている子どもたち。取っ手を一つひとつ確認しながら登り、登りきるとにんまりと笑顔になります。

—保育者の思い—

机や棚の上に登って「登らないで」という大人の都合で終わらせるのではなく『登ってみたい』というこどもの姿を受け止めて日中のあそびに取り入れてみました。子どもたちの“やってみたい”“楽しい”という気持ちが満たされるあそびを保育者も一緒に楽しんでいきたいと思っています。

食事

はな組

社会生活との関わり



—こどもの姿—

自分で手づかみで食べる中で「これは、何だろう」と食材を観察する姿があります。また、どのくらい手に力を入れたら崩れることなく口に運べるのか子どもなりに考え、口に運んでいます。

—保育者の思い—

手づかみ食べをする中で、五感で食材を感じてほしいです。少しずつスプーンを使って食べることに興味を持てるように、スプーンの使い方なども伝えていきたいと思っています。

※ ←この部分には、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を載せています。

10の姿とは…①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 です。

工事現場の今

～新園舎ができるまでの道のり～

鉄骨で保育園の全体像が分かった4月末。この1ヶ月でよく見ると屋根と壁ができています。送迎時、お子さんと一緒に見てみてください。



そろそろ窓ガラスも入ります。



10+個でも楽しめる

ポットン落としで遊ぼう！

- ◎穴の空いたタッパーに落とす
- ・チェーンリング(誤飲防止のため、10個以上二重に撃げたもの)
- ・ペットボトルのキャップ(誤飲防止のため、4つ以上を撃げたものが良いです)
- ・ホース(5cmほどに切ったもの) など

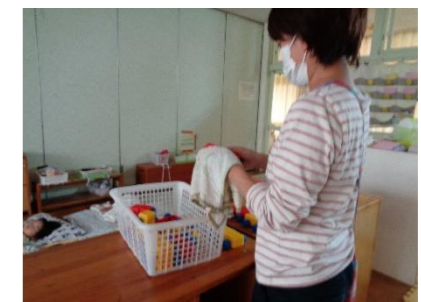
年齢によって、穴や入れるものの大きさを変えたい、素材を変えたいすると面白いですよ。



お家でできる「みんなあそび」

意外と知らない

保育園の裏側



子どもたちが日中遊んだおもちゃを午睡の時間に保育者が一つひとつ消毒しています。木のおもちゃは、毎週土曜日に天日干をして消毒をしています。